

8月3日：銀行株が買い戻され、VN指数は7日続伸

午後の取引にリスク選好の動きが強まり、ベトナム株は上昇した。

ホーチミン市場のVN指数は1.39%（18.22ポイント）高の1,332.44ポイントとなった。同指数は7日連続の上昇となり、節目の1,330ポイントを上回った。

騰落別では243銘柄が上昇し、140銘柄が下落した。

出来高も前日比で増加し、売買高は6億4,700万株で、売買代金は約21兆5,000億ドン（9億3,520万米ドル）となった。

不動産セクターの主力株がVN指数の上昇をけん引した。

VN30指数は1.5%（21.66ポイント）高の1,469.87ポイントで取引を終えた。

ビンググループ（VIC）は6.51%高となり、引き続きマーケットを主導した。2.59%上昇したビンホームズ（VHM）は、それに続いた。

朝方売られた銀行株は買い戻され、VN指数は午後に上げ幅を拡大した。

ベトコムバンク（VCB）、テクコムバンク（TCB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、軍隊商業銀行（MBB）、ヴィエティンバンク（CTG）といった銀行株の多くは1%を超える上昇となった。

「VN指数が1260ポイント付近の下値支持線まで下げた7月19日に底値買いし、先週末そして今週初めに利益確定売りをした投資家は、引き続き市場の動きを観察し、マーケットが動く時、ショートポジションを取りに行くのが良い」（サイゴンハノイ証券のアナリスト）

ハノイ市場のHNX指数も力強く上昇した。同指数は1.33%高の319.13ポイントで引けた。

売買高は1億1,360万株を超え、売買代金は3兆ドン近くとなった。

UPCOM指数は朝方から値を戻し、0.27%高の87.59ポイントとなった。

同指数は朝方0.22%下落していた。

その一方で外国人投資家は引き続き、両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて1,697億5,000万ドルを買い越しており、マーケットへの関心は高い。

結果として外国人投資家はホーチミン市場では1,606億ドルを、ハノイ市場では91億5,000万ドルを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。